

番号：150454

国名：ベトナム

担当：社会基盤・平和構築部 都市・地域開発グループ第一チーム

案件名：ダナン市都市交通改善プロジェクト終了時評価調査（評価分析）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参团

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2015年7月下旬から2015年8月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.47M/M、合計 0.97M/M
- (3) 業務日数：

|      |        |      |
|------|--------|------|
| 準備期間 | 現地業務期間 | 整理期間 |
| 5日   | 14日    | 5日   |

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：7月1日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は  
郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約（単独型）公示案件（再公示含む）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ（ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約（単独型）簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」（[http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204\\_02.html](http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)）をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：

|                  |    |
|------------------|----|
| ①業務実施の基本方針       | 8点 |
| ②業務実施上のバックアップ体制等 | 2点 |
  - (2) 業務従事予定者の経験能力等：

|                   |     |
|-------------------|-----|
| ①類似業務の経験          | 45点 |
| ②対象国又は同類似地域での業務経験 | 9点  |
| ③語学力              | 18点 |
| ④その他学位、資格等        | 18点 |
- (計100点)

|          |           |
|----------|-----------|
| 類似業務     | 各種評価調査    |
| 対象国／類似地域 | ベトナム／全途上国 |
| 語学の種類    | 英語        |

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。

(2) 必要予防接種：なし

## 6. 業務の背景

ダナン市はベトナム南北をつなぐ国道1号線上に位置し、人口約90万人を抱えるベトナム中部の中心都市である。加えてメコン東西回廊の起点で地勢学上の要衝であり、ベトナム中部の持続的発展において今後ますます重要な役割を担うものと期待されている。

JICAは2008年から2010年にかけて「ダナン市都市開発マスタープラン調査(The Study on Integrated Development Strategy for Danang City and Its Neighboring Area: DaCRISS)」を実施し中部経済圏の将来開発戦略を策定するとともに都市交通計画や環境計画を含む2025年に向けたダナン市マスタープランを策定した。

他のベトナムの都市同様ダナン市においても、バイクを中心とした二輪が交通モードの90%を超え大半を占めるが、ダナン市はこれまでに整備された広幅員の道路やフライオーバーをはじめとしたインフラが良好な状態で維持されており、市中心部における朝夕の通勤時間を除けば現時点において目立った渋滞は起きていない。

しかしながらDaCRISSでも指摘されたように、2025年までにダナン市の人口は210万人に達するシナリオも想定されることから、大量高速輸送システムの整備や交通管理施策の導入をはじめ私的交通から公共交通の利用へのモーダルシフトを促進する対策が必要である。また、DaCRISSで基本計画となる都市交通計画は示されているものの、ダナン市の事業計画・実施能力の強化等が課題となっている。

かかる状況を踏まえダナン市が地方中枢都市として適切に成長していくために解決が必要な都市交通課題に対処する能力を向上させることを目標として、「ダナン市都市交通改善プロジェクト」(以下「本プロジェクト」)が要請された。

これに対しJICAは2011年10月にコンタクトミッションを派遣し、ダナン市側のニーズを確認し、その後、日本政府が案件を採択したことを受け2012年10月に詳細計画策定調査を行った。同調査で、ダナン市がDaCRISSを基に関係機関を巻き込んで都市総合マスタープラン(目標年次2030年)と都市交通マスタープラン(同2020年)の策定をすすめていることが確認できたため、これらマスタープランの実現に必要な交通局を中心とした職員の事業計画・実施等の能力強化を行うことで協議議事録(Record of Discussion: R/D)で合意した。2013年4月から2016年3月までの予定で、技術協力プロジェクト「ダナン市都市交通改善プロジェクト」を実施し、短期専門家(総括/都市交通政策、交通計画、交通管理/信号システム、社会実験(1)、社会実験(2)/業務調整、公共交通/環境配慮型都市交通、GIS)を派遣中である。

今回実施する終了時評価調査は、2015年12月のプロジェクト終了を控え、活動の実績、成果を評価、確認するとともに今後の活動に対する提言及び今後の類似事業の実施にあたっての教訓を導くこと目的とする。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性)を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。なお、JICA事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間(2015年7月下旬)

- ①既存の文献、報告書等(事業進捗報告書、合同調整委員会議事録、活動実績資料等)をレビューし、プロジェクトの実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセスを整理、分析する。
- ②既存のPDMに基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド(案)(和文・英文)を作成する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- ③評価グリッド(案)に基づき、プロジェクト関係者(プロジェクト専門家、カウンターパート(C/P)機関、その他ベトナム側関係機関、他ドナー等)に対する質問票(英文)を作

成する。

- ④調査団内検討のため、評価グリッド（案）を用いて評価デザイン（案）（英文・和文）を検討する。
- ⑤国内で収集可能なデータを整理・分析する。
- ⑥他の主要ドナーの動向（中期計画、実施中案件の内容及び進捗等）を情報収集する。
- ⑦対処方針会議等に参加する。

（2）現地派遣期間（2015年7月下旬～8月上旬）

- ①JICA ベトナム事務所等との打合せに参加する。
- ②プロジェクト関係者に対して、本終了時評価の評価手法について説明を行う。特に、ベトナム側 C/P に対しては、他の団員と合流する前に、終了時評価の位置づけ等も含めて十分説明し、先方の理解を醸成しておく。
- ③JICA ベトナム事務所を通じて事前に配布した質問票を回収、整理するとともに、ベトナム側 C/P と協議した評価グリッドに基づきプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
- ④当該関連分野に関する他ドナーの動向、今後の方針について情報収集・整理する。
- ⑤収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- ⑥国内準備並びに上記③～⑤で得られた結果をもとに、他の調査団員及びベトナム側 C/P 等とともに評価5項目の観点から評価を行い、評価報告書（案）（英文）の取りまとめを行う。
- ⑦調査結果や他団員及びベトナム側 C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、必要に応じて PDM 及び PO の修正案（和文・英文）の取りまとめに協力する。
- ⑧評価報告書（案）に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版を作成する。
- ⑨協議議事録（M/M: Minutes of Meeting）（英文）の作成に協力する。
- ⑩担当分野に係る現地調査結果を JICA ベトナム事務所等に報告する。

（3）帰国後整理期間（2015年8月中旬～8月下旬）

- ①評価調査結果要約表（案）（和文・英文）を作成する。
- ②帰国報告会に出席し、担当分野に係る報告を行う。
- ③終了時評価調査報告書（和文）について、担当分野のドラフトを作成する。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（1）～（3）のすべてとする。

- （1）評価報告書（案）（英文）
- （2）担当分野に係る終了時評価調査報告書（案）（和文）
- （3）評価調査結果要約表（案）（和文・英文）

上記（1）～（3）については、電子データをもって提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」（<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）を参照願います。留意点は以下のとおり。

- （1）航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します（見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい）。

## 10. 特記事項

- （1）業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2015年7月27日～2015年8月9日を予定しています。  
本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間先行して現地調査の開始を予定しています。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括 (JICA)
- イ) 評価分析 (コンサルタント)

③便宜供与内容

当機構ベトナム事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎  
あり
- イ) 宿舎手配  
あり
- ウ) 車両借上げ  
全行程に対する移動車両の提供 (機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。)
- エ) 通訳備上  
英語⇄ベトナム語の通訳を提供
- オ) 現地日程のアレンジ  
現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ
- カ) 執務スペースの提供  
プロジェクトオフィス内の執務スペース提供 (ネット環境完備)

(2) 参考資料

- ①本業務に関する以下の資料を当機構社会基盤・平和構築部 (eigge@jica.go.jp) にて配布します。
  - ・PDM (最新版)
  - ・プロジェクト業務進捗報告書 (その1)、2013年10月
  - ・プロジェクト業務進捗報告書 (その2)、2014年4月
- ②本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイト (<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。
  - ・ベトナム社会主義共和国 ダナン市都市交通改善プロジェクト 詳細計画策定調査報告書  
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000011202.html>

(3) その他

①複数業務従事者提案の禁止

業務実施契約 (単独型) については、単独 (1名) の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

②不正腐敗の防止

本調査の実施にあたっては、「JICA不正腐敗防止ガイダンス (2014年10月)」の趣旨を念頭に業務を行うこと。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談するものとする。

以上